



戸田と世界の暮らしが交差する場所 文化継承と情報発信の場を創る

事業者：M's 877（エムズバナナ）代表：松原博文

事業目的：戸田には日本人が忘れてしまった暮らしがある。目の前の海で獲った魚を食べ、育てた野菜を食べ、乾燥させて保存食にする。しかし人口流出が進み、戸田の文化や生活の知恵を継承する人が年々減っている。一方で、戸田の素朴さや地元住民との触れ合いに惹かれ足繁く通い、移住を考える人も増えている。また戸田には宿泊施設で働く外国人も暮らす。そこで、戸田の地元住民、旅行者、戸田在住外国人たちが互いの文化を継承し合い、情報を発信する場を創る。

現状と目標：施設が整い、戸田を紹介する写真展を開催するとともに、戸田小中一貫校や戸田に縁のある人たちとのつながりを拡大。また、戸田と周辺地域の産品を通して、戸田の魅力を発信。今後はワークショップなどを開き、人と人のつながりを国内外問わずより深める活動を行う。

活動と成果：令和5年度の実績

- ①「戸田の日常写真展」7月～8月開催 戸田の農産品や漁など”暮らし”を紹介
- ②「戸田っ子が切り取る戸田の風景写真展」7月～9月開催 戸田小中一貫校の生徒とコラボレーションをし、風光明媚な戸田を紹介。外国人旅行者のための英文キャプションも表示
- ③「段ボール水彩画展」8月～10月開催 戸田在勤のアマチュア画家の水彩画を展示。日常で排出される段ボールに描くことでSDGsにも貢献していることを紹介。「Yahoo地域情報」のライターに執筆を依頼し、掲載してもらったことで、より広い地域の人にも情報を発信
- ④「三島産ドッグフード販売」5月試食会実施、7月販売開始 人間も食べられるをコンセプトに三島のレストランシェフが規格外野菜などを使って作るドッグフード
- ⑤「戸田産天然ハチミツ」8月販売開始 戸田在住の養蜂家が戸田で作ったハチミツを戸田の新しい特産品として戸田内外のお客様に訴求



振り返り課題：これまでの展示では施設全体を使い切れておらず、展示方法に工夫が必要。イベントや取り扱っている製品のプロモーションがSNS中心となっており、リーチが限定的になっているため、媒体を多様化する必要がある。当施設を会場として利用できることを十分にプロモーションできていないため、今後、力を入れる必要がある。

< 相関図 >

